



■施工される方へのお願い

●本製品に使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

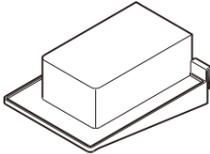
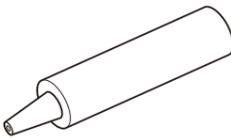
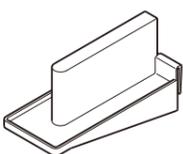
**▲注意**

- 1階・2階の中間部には、前もって付け柱・構造合板などで下地を造作してあることを確認してください。連結モール・連結方立が取付けられなくなります。
- 下記項目は漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。
  - ・連結モール・連結方立は窓モール施工後に取付けてください。
  - ・1階・2階の中間部とサッシまわりの躯体室外面は面一に造作してあることを確認してください。
  - ・1階・2階の中間部には防水シートが張ってあることを確認してください。
  - ・指定個所には必ずシーリングしてください。

■施工上のお願い

●大型ユニットの中間部は、防火規定を満たしておりません。準耐火構造・防火構造とする場合の外壁構造は、建築基準法及び同法施行令に従ってください。

■部品セット一覧表

| 部品セット(連結モール)  |  | 部品セット(連結方立)   |   | ねじセット  |
|---|--|---|---|--|
| 端部キャップ  | コーキング材   | 端部キャップ  | コーキング材  | 取付けねじ  |
|  |  |  | <br>※連結方立(1本入)には同梱されていません。 | <br>ナベタッピンねじ(1種)<br>φ4×35 |

■取付け順序

1 取付け部の躯体納まりの確認

**▲注意**

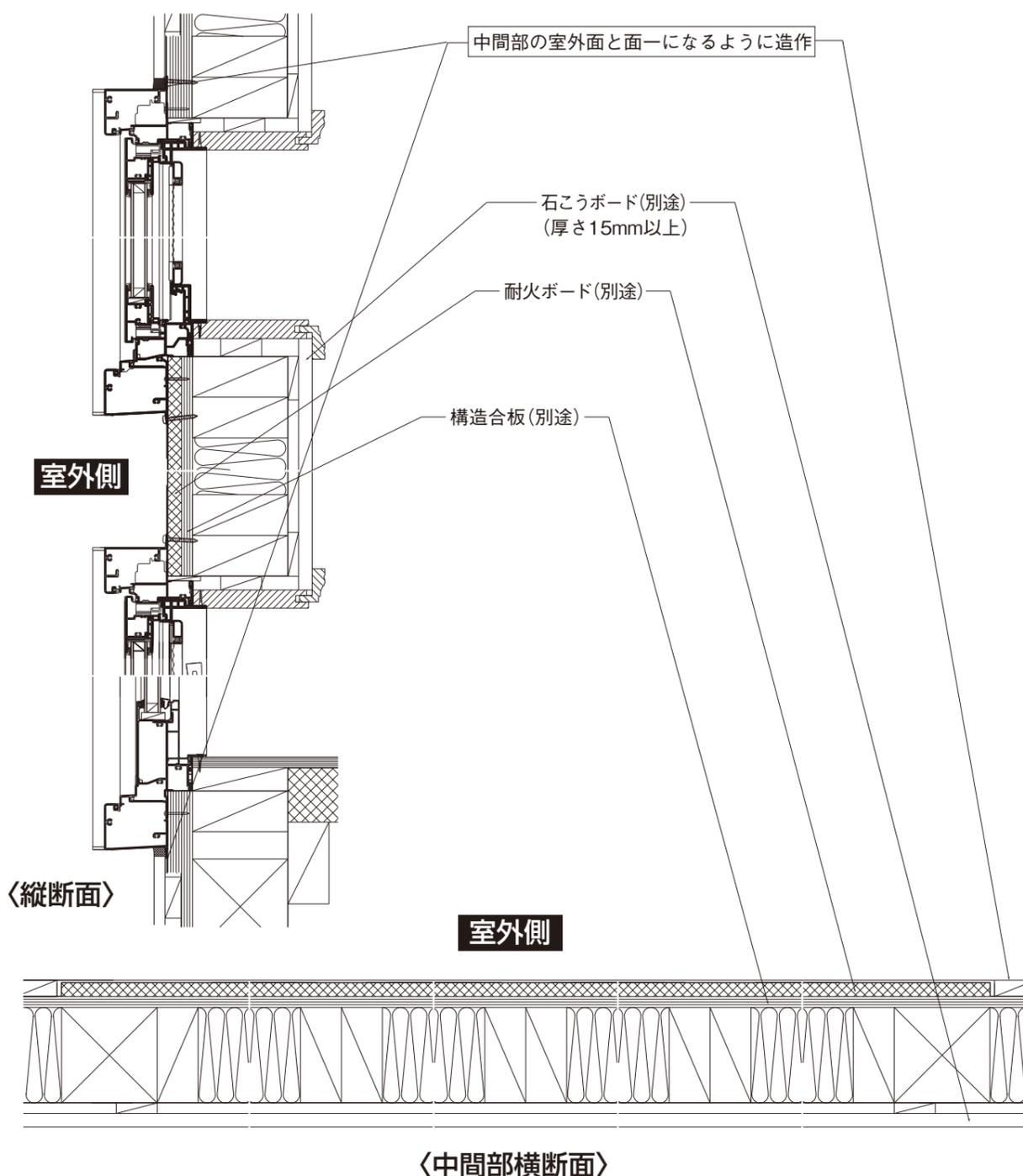
- 1階・2階の中間部には、前もって付け柱・構造合板などで下地を造作してあることを確認してください。
- 1階・2階の中間部には防水シートが張ってあることを確認してください。

●大型ユニットの中間部を準耐火構造・防火構造とする場合、中間部の外壁構造が建築基準法及び同法施行令に従っているか確認してください。又、この中間部の室外面と、1階・2階のサッシまわりの躯体の室外面とに段差がないことを確認してください。

**▲注意**

- 1階・2階の中間部とサッシまわりの躯体室外面は面一に造作してあることを確認してください。

■準耐火構造施行例

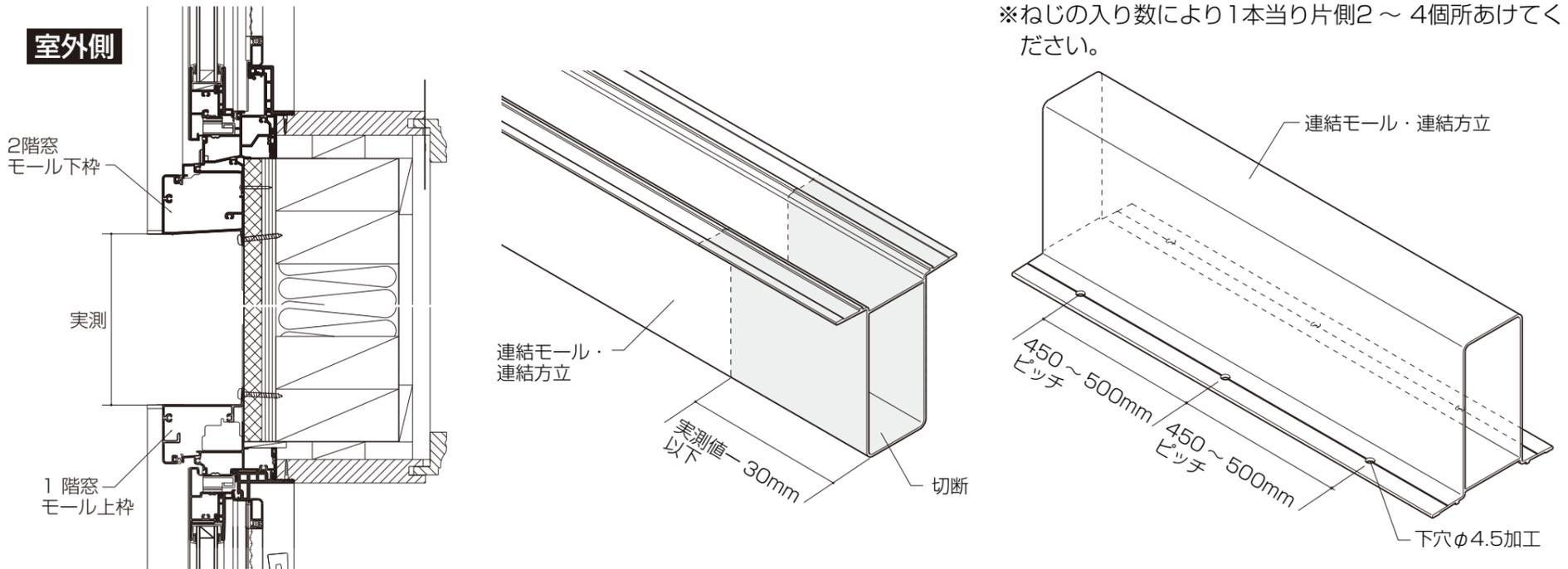


## 2部材の切断・下穴あけ

①1階窓モール上枠の上面から、2階窓モール下枠の下面までの寸法を実測してください。

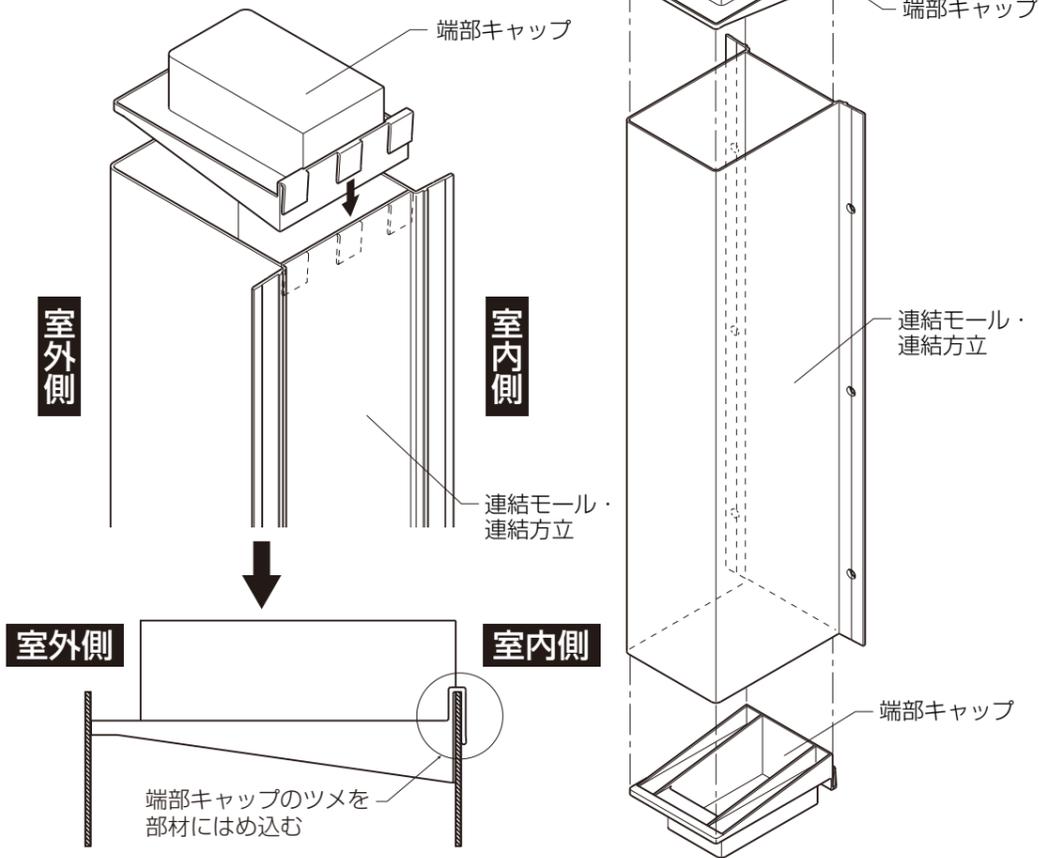
②連結モール・連結方立を「実測値-30mm」以下の寸法で切断してください。

③躯体取付け用の下穴を450～500mmピッチで部材の左右にあけてください。  
※ねじの入り数により1本当り片側2～4箇所あけてください。



## 3端部キャップの取付け

●端部キャップのツメを部材の室内側にして、連結モール・連結方立両端にはめ込みます。

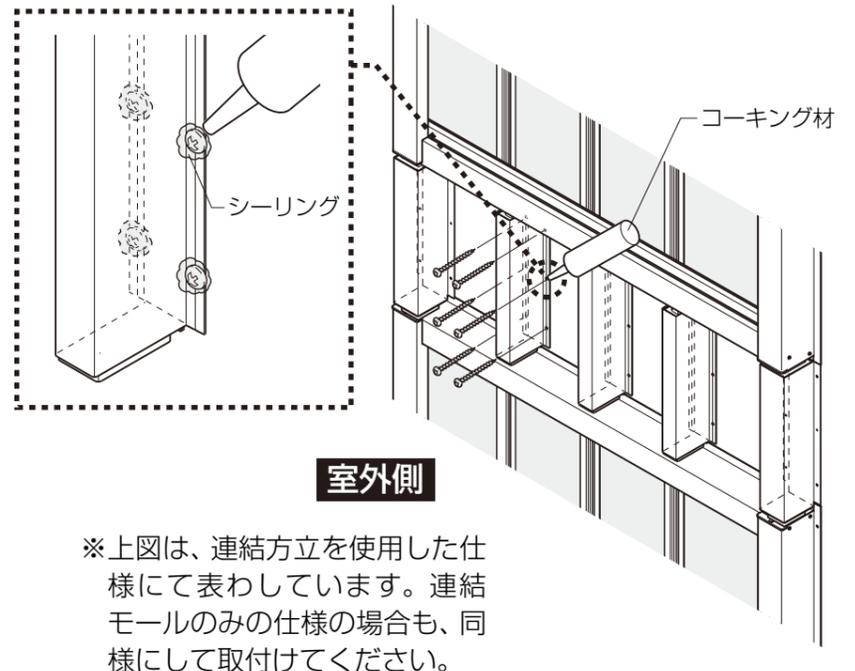


## 4部材の取付け

●1階・2階の窓モールの縦枠や方立のラインに合わせて連結モール、連結方立を取付ねじで取付けます。その際、取付けねじのねじ部にコーキング材を塗布してください。

### ▲注意

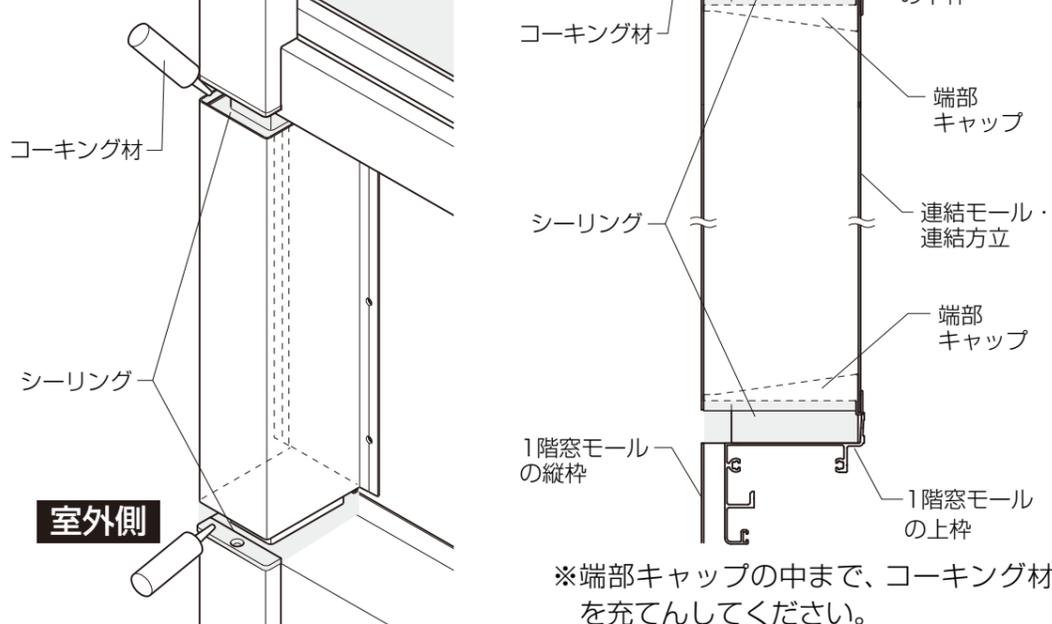
●シーリングは必ず実施してください。



※上図は、連結方立を使用した仕様にて表わしています。連結モールのみの仕様の場合も、同様にして取付けてください。

## 5端部のシーリング

●端部キャップと1階・2階の窓モールとの間を同梱のコーキング材でシーリングします。



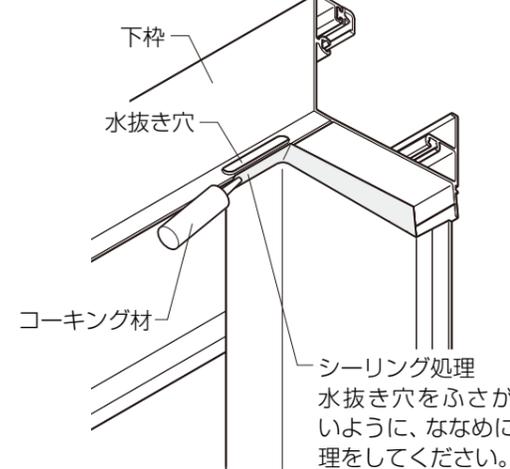
※端部キャップの中まで、コーキング材を充てんしてください。

## 6外壁の仕上げ

●外壁を仕上げ、窓モール、連結モール、連結方立と外壁の取合い部をシーリングしてください。

※中間部をパネル仕上げにする場合でも、取付け面にねじ頭などの凸凹があるため、一度外壁もしくは構造合板などの下地材を張った上からパネルを取付けてください。

※連結方立取付け位置が、2階窓モールの水抜き穴と一致した場合は、水抜き穴をふさがないようにシーリングをしてください。



### ▲注意

●シーリングは必ず実施してください。